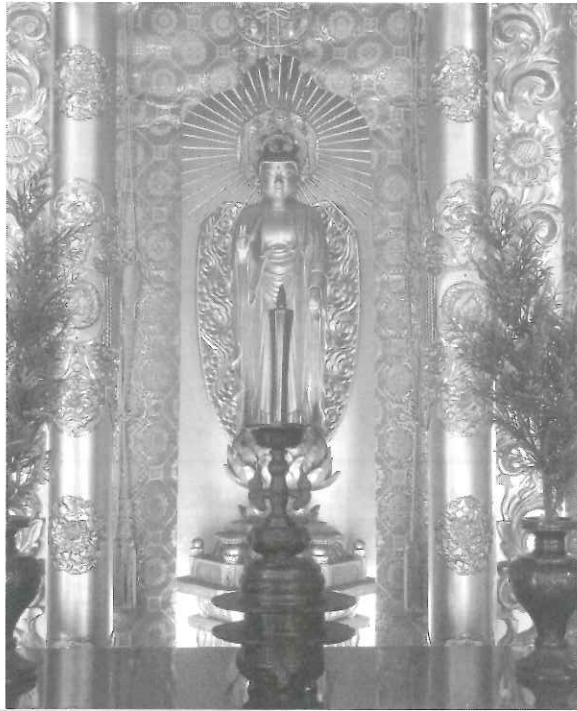


# ようこそ

浄土真宗のご本尊は ほんぞん



あみだにょらい  
阿弥陀如来

なもあみだぶつ  
(南無阿弥陀仏)

という仏さまです



(上) 円光寺本堂  
お内陣中央にご安置の  
阿弥陀如来尊像

(下) 大海組発行の  
『葬儀のしおり』を資料に  
聞法会をしました  
(3月2日、あんのん館)

第 39 号  
浄土真宗本願寺派  
円光寺  
〒870-0108  
大分市三佐3-15-18  
TEL097-527-6916  
FAX097-527-6949

## 浄土真宗の葬儀をお勤めしましょう

お寺はどこも同じ仏教なのに、色んな宗派があつてお寺の外観や仏壇の様子、読むお経が違ふなど、一般の皆さんには分かりにくいところがたくさんあるようです。ただお寺の仕事(法務)という共通して「葬式法事」と思われている人が多く、お葬式が続くと、「お寺さんも最近忙しいですね」などと言われることがよくあります。

この数年でお葬式のあり方が劇的に変わってきています。何でも新しい流行は東京からということとで、家族葬、直葬、ゼロ葬ということが一気に地方にまで広がっています。

これまでお葬式はご縁のお寺を通じて行われていましたが、葬儀社やインターネットを通じて直接お坊さんを頼んだり、それぞれの遺族の思いでお葬式をするところが多くなりました。

その結果、広く仏事のあり方や仏壇・お墓の継承などについて色んな問題が起こってきました。今まで当然のように「ご門徒(檀家)のお葬式を行ってきた私たちお寺の姿勢がまず問われます。昔から続くお寺とご門徒の関係にあまえて、お坊さんはお経をあげるだけで、大事なことを教えてこなかったという厳しい指摘です。

ご門徒さんとの日頃からのご縁を大事に思います。浄土真宗のみ教えにつながったご縁です。お寺だったらどこでもいい、お経だったら何でもいということでは決してありません。

三月二日(木)に大海組(円光寺を含む大分市と由布市の十七寺院で組織)発行の『葬儀のしおり』を使って聞法会を開き、浄土真宗の葬儀のあり方をご門徒皆さん一緒に聞かせていただきました。



# ご本尊を中心にご安心のお葬式を お勤めさせていただきます

## 円光寺の葬儀

ご門徒有縁の方がご往生された時まずお寺にご連絡ください。葬儀執行について住職が責任をもつて対応します。安心して何でもご相談してください。

### 臨終からの仏事

浄土真宗の仏事はすべてご本尊の阿弥陀如来(南無阿弥陀仏)を中心にお勤めいたします。

### 臨終勤行

住職(新院)がお参りし、お家のお仏壇でお勤めします。

★お仏壇をきれいにお荘厳(お飾り)しましょう。住職と一緒にお手伝いします。

お仏壇は中陰期間中(四十九日間)ずっと同じお荘厳です。○法名・遺骨・遺影をご安置する台をお仏壇の横に設けます。



大海組発行の「葬儀のしおり」

○お仏飯をお供えしましょう。○枕飾りは要りません。臨終勤行が済んで、通夜葬儀の日程等の打ち合わせを行います。

### お寺参り(喪主)

お寺に円光寺所定の『過去帳登録台紙』を持参し、本堂の阿弥陀さまにこのたびのご縁をご奉告しましょう。

### 通夜葬儀

今は葬祭場で行うところが殆どですが、お寺での執行を希望されるお家は前もってご相談させていただきます。

### お礼参(還骨勤行)

火葬の後、お遺骨となつてお寺に還りご尊前にご安置してお勤めをし、臨終から還骨までを振り返り、お寺の阿弥陀さまにお礼を申し上げます。

### 中陰法要

お家のお仏壇で七日七日にお勤めをします。往生の日から数えて七日目に「初七日法要」をお勤めします。お家のお仏壇での初めてのお勤



ご本尊の阿弥陀如来を中心にした葬儀のお荘厳のようす

めです。四十九日目のお勤めを「満中陰法要」といいます。満中陰法要が済み納骨をして、お仏壇が平生のお飾りに戻ります。

以上が今円光寺で行っている臨終から中陰に到る一連の仏事の流れです。

大切な人と死別する悲しみのご縁ですが、そのまま仏さまのご縁といただいて、丁寧にお勤めさせていただきますよう。

仏事について、お寺と初めてのご縁のお家もあり、わからないことが多いと思います。

今後も「葬儀のしおり」を使って聞法会を開いていきます。また日頃からお寺で仏事相談を受けていますので、気軽にご相談にきてください。

## 世々生々

「これは偽ニュースだ」「もう一つの真実」などの言葉が世界のネット上を駆けめぐる◆真実の一つであるはずなのに、一つの事象を見る見方によってそれぞれが真実になるということ、私のものの見方私の都合で真偽が大きく違ってくる◆今この地球上の二つの国で起こっていることはとても危険な動向をはらむ。どんなにメディアが報じても多くの人々が指摘しても、その声に耳を傾けようとせず、自らの主義主張を繰り返す◆本当に恐いことは、その中心人物が最高権力者であるということだ。核兵器のボタンを押し得る立場にある人である。だからこそ真実の声に耳を傾ける謙虚な姿勢が求められるのだが◆地球はいのちの惑星である。人間だけではない、人類誕生以前から無数無量のいのちが連綿と営まれ続けてきた。人間の身勝手なエゴで破壊することは決して許されない◆地球は希望の星である。お釈迦さまが生まれ人間の間身をもつて真実の法を開かれ、同じ人間に生まれた私たちに仏法を聞くことを勧められる◆迷いの中に苦悩する私のすがたを知らせ、どんな人も真実の法に目覚めてほしいと願う。



お朝事「法話」より

ご和讃の繰り読み

毎朝六時半からのお朝事のお勤めは、浄土真宗を開かれた親鸞聖人が書かれたお正信偈とご和讃を誦して阿弥陀如来のお徳を讃嘆いたします。

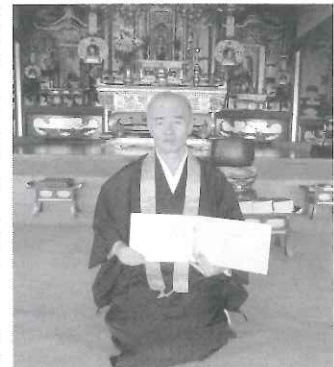
本願寺八代宗主蓮如上人が浄土真宗門徒の日常勤行としてお示しくださったもので、ご和讃を毎日六首(七首八首の時もあります)ずつ繰り読みして五十三日で一巡いたします。

今日からご和讃が最初の「阿弥陀成仏のこのかたは」に返ります。そこでこれから毎朝ご和讃を一首ずついただいております。

今日のご和讃です。

「阿弥陀成仏のこのかたは  
いまに十劫をへたまへり  
法身の光輪きはもなく  
世の盲冥をてらすなり」

〔現代語訳〕阿弥陀如来が法蔵菩薩の昔、一切衆生を救いたいという願いをおこし、永い永い修行の結果、さとりを開き仏となられてから、釈尊が説法されたその時まで、すでに十劫という長い時間が経っている。阿



毎日繰り読みのご和讃をファイルに綴じていきます

弥陀仏の成仏以来、その御身より放たれる光は限りなく、十方のいずこをも、また過去、現在、未来を通して、どこでも、いつでも照らし続け、智慧のない私たちに信心の智慧を与え続けていてくださるのである。(※「聖典セミナー・浄土和讃」より)

阿弥陀さまの前身法蔵菩薩さまが阿弥陀如来に成られて十劫が経ったといえます。劫とは長い時間を表す単位で、一説には40里四方の盤石を百年に一度ずつ天女が羽衣で払って、無くなってしまうのが一劫といえます。

それが十回繰り返されて十劫ということですから、私たちにたとえ永い永い時間です。その十劫の昔に法蔵菩薩が阿弥陀仏に成られたというのです。

そのことを聞くときに、十劫の昔のことかと遠い過去のこととして聞くのではありません。「法身の光輪きはもなく」と続きます。阿弥陀さまの御身から光が放たれてあるのです。この

本堂お内陣のまん真ん中にご安置のご本尊阿弥陀如来さまのお姿です。

それも際限のない光を十方世界に放つてあると聞くときに、実はこの私をめぐってにしてということなのです。「世の盲冥をてらすなり」とあります。盲冥という暗い迷いの闇の世界にはおかないと、十劫の昔からずっと、いつでもどこでも照らしてくださつてあると親鸞聖人は讃嘆されるのです。

十劫の昔の過去の話ではなくてもつとつとということですが、命まさに煩惱を抱えた迷いの命は、この世に私がおギヤアと生まれてはじめて始まった命ではなくて、十劫の昔からずっと迷いの暗闇の中を生きてきた命ということ、このたび人間に

生まれて仏さまのみ教えに遇わせていただくことにより、迷いの世界からさとり世界に生まれさせていただけるといいうご讃嘆です。

これから毎日一首ずつといえますと、拝読のご和讃が全部で三二六首で、最後まで読み通すと十二月十二日まで、約一年かかります。それが長いと思うか、一年すぐだと思うか。ただこの十劫ということには比べようがありません。ほんのちよつとです。それほどまでに阿弥陀さまの大悲のお心がこの私のところに届くまで随分ご苦労いただいたことだなど有難くもたもたいたなくお念仏申させていただきます。(1月21日)

お朝事にお参りしましょう  
八毎朝6時30分〜7時V

ご案内

◆春彼岸会

3月19日(日) 11:00~14:00  
同 19:30~21:00  
3月20日(月) 13:30~15:00

◆花まつりの会

4月2日(日) 10:00~12:00  
(白象パレード、新1年生を祝う会)

◆宗祖降誕会

5月21日(日) 10:00~15:00  
(初参式、バザー、もちまき)

◆常例法座

6月16日(金) 10:00~11:30

“月に一度は  
お寺参りしましょう”

※詳しくは『寺通信』でご確認ください。



### にぎやかに!! 子ども報恩講



おせったいの「ぜんざい」をいただきました



子どもも大人も一緒におつとめをしました



衛藤徹三ご講師(久住町安照寺様)に布教お取り次ぎいただきました (11月27日)

親鸞聖人御正忌報恩講



豪華賞品をめざしてビンゴゲームに夢中です



みんなで楽しく人形劇を観ました



今年も中高生のスタッフが大活躍でした 本当に年々益々頼もしくなります (11月26日)



仏さまにお供えした正月の鏡餅のおさがりでぜんざいをいただきました (1月16日)

親鸞聖人祥月命日法座



新年最初のご縁にお参りされたいつものお同行の皆さん 今年もようこそお願いします (1月2日)

新春初法座



除夜の鐘がきこえる中でお正信偈さまをお勤めして新年を迎えました (12月31、1月1日)

除夜会・元旦会

風邪をひいた。日頃から健康管理と規則正しい生活を心掛けていたつもりだったが、油断があつたのだろう、風邪をひき込んでしまった。  
お葬式が続きゆつくり休むに休めない。一向に体調が戻らず、このままずっと寝込んでしまうのではないかと不安が広がる。あらためて家族の有難さと思う。我が身に代わってくれるものではないが、心配してそばにいて声をかけてくれる。いつも一緒にの安心感が本当に心強い。

あ と が き



別大マラソンの当日、西大分から別大国道を10km歩いて本願寺別府別院の常例法座にお参りました (2月5日、うみたまこ付近)

2年ぶりに 別大ウォーク